



第51号

発行所  
大根占町役場  
電話 大根占1番  
編集兼発行人  
遊喜半次郎  
印刷所  
鹿児島市扇町2番地  
南日本新聞社印刷局  
電話 2200番

「町民の声」  
をつのる

町政への批判、意見、希望  
など、卒直な町民の声を明  
記し、毎月25日まで「広報  
係」へ送つて下さい。

＝お知らせ＝

固定資産課税台帳の縦覧について  
昭和三十一年度の固定資産課税  
台帳の縦覧は、土地、家屋とも前  
年度とかわりません。  
一、縦覧場所 町役場税務課  
一、期間 三月一日から二十日  
まで（日曜を除き、毎日  
午後八時から午後五時）  
（事務時間中）

※評価額は、土地、家屋とも前  
年度とかわりません。  
一、縦覧場所 町役場税務課  
一、期間 三月一日から二十日  
まで（日曜を除き、毎日  
午後八時から午後五時）  
（事務時間中）

不注意が半分  
火事も神武以来

年々上昇の一途をたどっている  
火災の件数は、神武以来の  
増加傾向にある。火災の件数  
は、昭和三十一年度の調査結  
果によれば、前年度に比べて  
約半分に減少した。これは、  
町民の防火意識の高まり、火  
災予防の徹底、消防団の活動  
の活発化などによるものと考  
えられる。しかし、火災の件  
数は、依然として町民の生命  
財産に重大な被害を及ぼして  
いる。町民は、火災予防に注  
意を払い、火災の発生を防  
止する必要がある。

助役に坂元氏選任  
第二回定例町議会ひらく

本年度第二回定例町議会は三月  
二十日開会された。三十二年  
度予算案の審議は三月三十一  
日まで行われ、議事は三月  
三十一日閉会した。  
議案第四号、第五号、昭和三十  
一年度一般会計および特別会  
計決算の認定については、決  
算委員会を経て審議すること  
とし、議事に入つた。  
議案第六号、林道建設工事の  
請負契約締結の承認、（六拾八  
万八千八百円）および議案七  
号、一般会計に於ける製茶事  
業特別会計追加更正予算は、い  
づれも原案どおり可決された。  
この際、町長坂元武郎氏に選  
任された。坂元氏は、町民の  
生活向上に努め、町政の発展  
に貢献する所存である。

御挨拶  
助役 坂元 左 武 郎

私は、ここに再び助役に就いて町  
政のお手伝いをさせていただきます。  
町民の生活向上に努め、町政の  
発展に貢献する所存である。

私は、ここに再び助役に就いて町  
政のお手伝いをさせていただきます。  
町民の生活向上に努め、町政の  
発展に貢献する所存である。

青年たちは  
何を考えるべきか

これは福島主事が県公民館主事会にての講演の要旨を  
まとめたものであります。  
新年を間近に控え、なやみ多き青年団の運営に当  
られる新役員をはじめ、団員諸氏のために、よい資料  
であると考へましたので発表することにしました。

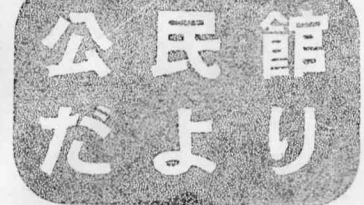
この青年の持つ方向感覚によつて、  
世が代ると云われる。では  
青年は何を考へて、行つたらよ  
いだろうか。

△因習の打破

かつての教育は心理学を中心に  
して「子供は純心である」という  
仮定のもとに行われてきた。  
近代社会では、子供達でもそ  
れぞれが文化の型をもつてい  
る。人間は生ながらなつて、そ  
の地域社会の型がしみこんで  
いる。その型が、東洋の子供と  
西洋の子供とでは、異なるこ  
とがある。小さい頃から地域  
性が養われる。

一、青年団員生活の實  
態となやみ

青年団員の生活をみると  
1 長男：「まあ食つては行  
ける」と云ふ安定感だけで、仕  
方なしに家を守つてゐる人達  
2 二男：「農村における二  
三男」の問題、これは重大な社  
会問題であるが未解決の状態、  
農村青年は大部分この境遇に  
ある。時来は、「月給取り」  
「職人」「自衛隊」を考へ  
ねば生きて、行けない人々であ  
る。或は女性青年にしても、野良仕事  
する。



公民館  
だより

一つ開拓しつゝある。  
これも青年団運動が、青年の真  
剣な学習活動に基盤をのべてい  
るからである。  
青年団運動は、こゝでもその学  
習活動が基盤になつてゐる。  
それの努力が一つ一つの進  
歩となつて行つてゐる。

△生産活動

鹿児島県青年団の特徴として他  
府県の人達が注目していること  
が二つある。  
①青年団が産業振興に力を入れて  
いること。  
②青年一人一研究を方針として進  
め、青年産業振興大会が、生活  
に苦しんでゐる農村青年の気持  
と合致したこと、県の経済自立  
化運動という施策と合致したこと  
で、本県のこの行事は毎年その成  
果をあげて来たこと、として特筆  
すべきである。

△青年の希望

生活に希望がないから不良化す  
るのだと云ふ。  
希望がないから青年団運動がう  
まう行かないのだと云ふ。  
果して今の青年達に希望を与え  
ることはできないものだろうか。  
県下のある青年団、この青年  
達は、あはれ者として町内でも評  
判になつてゐた。ところが青年達

簡素に意義あるように

＝年末年始の生活調査から＝

に、一部若者を対象として行つ  
た、昭和三十一年度年末年始の生  
活調査が、それでありました。  
調査依頼者数五十人回答者数は  
二十九名でした。  
（一）年末年始の新生活について  
話し合ひの会をもつたか。  
もつた二四（八二）もたぬ

△生活設計を立て家計簿をつけよう

①生活設計を立て家計簿をつけ  
よう。二九％  
②年末年始の贈答は親元だけで  
し一切止める。六九％  
③年始会はなるべく校区が部活  
ごとに行ひ話し合ひしよう。六八％  
④回礼は三日以内料理は簡素に  
して夜は九時迄しよう。八八％  
⑤門松を立てる時は松を白く  
七草祝は子供本位、部活が婦  
人会で主催し祝ひしよう。七四％  
⑥子供はお年玉を貯金に七六％  
⑦七草祝について  
（五）七草祝について  
①主権 家庭毎 十三  
②部活 二  
③経費 一人平均 一一円  
④贈答 新調 三  
⑤贈答 学費 一八  
⑥贈答 学費 一八  
⑦贈答 学費 一八  
⑧贈答 学費 一八  
⑨贈答 学費 一八  
⑩贈答 学費 一八

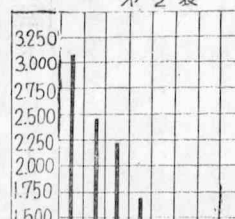
△祝の順序

①祝の順序  
○お祝の言葉  
○父兄やお客さまの挨拶

昭和30年中10大火災原因



最近10ヶ年出火件数



△御挨拶（菓子リンゴ吸物）

○記念撮影  
○レクリエーション  
○神社参拝  
○年末年始の新生活に対する  
感想  
よい点  
1. 経済的、時間的に節約に  
なる。  
2. 年始会で回礼がはかされ  
四日か仕事にかゝれた。  
3. 深酒を夜半まで飲む人が  
少なくなった。  
4. 料理の簡素化ができた。  
5. 合同七草祝は家庭経済上  
からも、また、子供自身に  
とつても有意義であり、共  
同精神の養成に役立った。  
わるい点  
①よくないが料理を少し研究  
したい。  
②部活間の連絡調整をよくしたい  
と云ふ結果が出た。  
この調査の中で興味深く考えら  
れたことは、ある部活では、  
「七草祝をどうするか」について  
話し合つた結果簡素化するために  
「一、部活でも各家庭でも一切  
やめよう」と云ふこととして、皆  
よく実行して、経済的にはありま  
したが「子供達が淋しそうでかわ  
いそうだな」と云ふことから、来  
年からぜひ部活婦人会で実行し  
たいと語り合つてゐる。このこと  
で、新生活は決つて、三品を一  
品にし、新しさを切りつめること  
だけが目的ではないと思ふ。  
簡素な中にも意義のあるように、  
人間尊重の民主的な考え方、い  
ろいろのなやみや不合理を解決  
して行つてゐる運動であることを  
忘れてはならないと思ふ。



